

メールパスワードの確認方法

メールのパスワードは、本来利用者が十分に関することが基本です。しかし、メールソフトウェア等の保存機能で保存をした場合、この内容を表示（確認）することは通常できません。しかし、以下の方法で、一部の内容を確認（暗号化されていない非表示の解除）することができます。以下にその方法の紹介とこの方法でも確認できない場合の対応について説明します。

なお、パスワードの確認方法は、自己が管理する端末のみに適用し、その他に利用しないことなど、自己責任で行ってください。

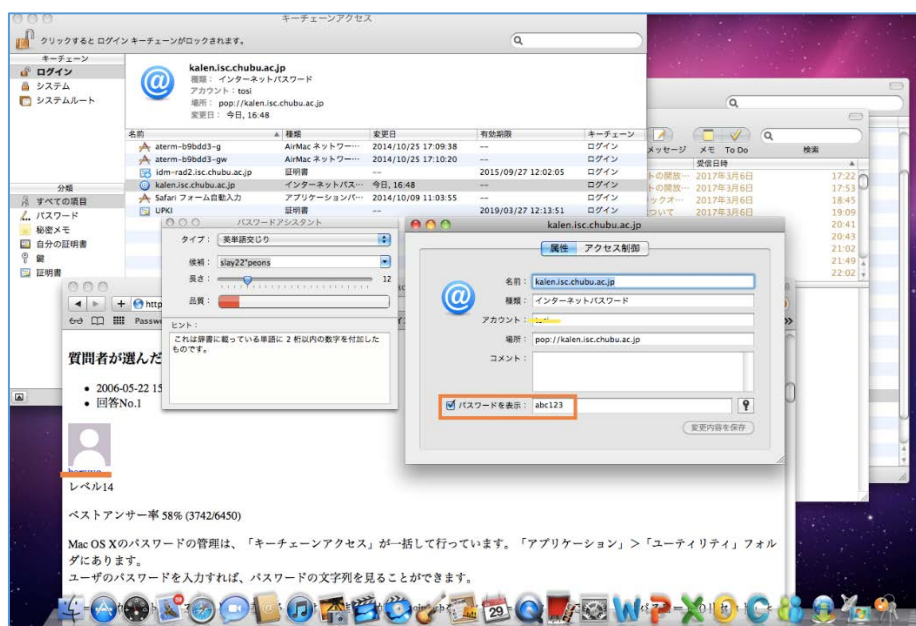
1. パスワードの非表示状態の解除方法

(ア) Thunderbird の場合

「ツール」 → [オプション] → 「セキュリティ」 → 「パスワード」 → [保存されているパスワード(S)]ボタン → [パスワードを表示する(P)]ボタン → [パスワードを表示します。よろしいですか?] → はい

(イ) Mac OS の場合

「アプリケーション」フォルダ → 「ユーティリティ」フォルダ → [キーチェーンアクセス]実行 → 分類[パスワード] → 氏名欄で対象メールアドレスを選択 → ダブルクリック → [パスワードを表示]にチェック → ポップアップ画面に端末管理者のパスワードを入力 → パスワード表示欄に表示



なお、上記の操作で表示ができない場合があります。

2. ツールを用いて確認する（outlook の適用例が多い）

- ・ インターネットに公開されているフリーソフトウェアを紹介する。
- ・ ウイルス対策ソフトウェアを最新にし、ダウンロードする。
- ・ 説明に沿って処理を行う。

- ・ Password Viewer

http://pcgenki.com/util/password_viewer.htm

- ・ PasswordEye 1.12

<http://www.bunei.com/Software/PasswordEye/PasswordEye.html>

3. 強制的にパスワードを上書き

サーバで管理されているメールパスワードを確認することはできないため、変更希望されるパスワードに上書きする作業を行います。サーバのパスワードが上書きによって変更された以降、PC のメールソフトウェアにパスワードが保存されている場合、この変更も必要となります。

(ア) 24 号館 2 階受付で本人確認（職員身分証明証）後、変更希望のパスワードに変更（センター作業）し、その場で新パスワードの確認いただきます。事前に以下のパスワードポリシーの沿い、変更するパスワードを「メモ」してきてください。なお、このメモは、モニターに貼らないでください。

(イ) 諸事情で（ア）の対応ができない方

fsc.chubu.ac.jp のメールアドレスから以下の情報を送ってください。これをもとに処理を行い、頂いたメールアドレスに返信します。

- ◇ 宛先 mail-info@isc.chubu.ac.jp
- ◇ 件名 Office 365 への変更依頼
- ◇ 本文 パスワードポリシーのあった文字列（のみ）

【パスワードポリシー】

- ① パスワードの長さは、8～16 文字までです。
- ② 小文字アルファベットを 1 文字以上含む必要があります。
- ③ 必ず次の記号 ! # \$ % & @ = ~ [] ? を 1 つ以上含む必要があります。なお、() * / “ ‘ , < > ¥ - _ + は、使用できません。
- ④ 大文字と小文字は区別されます。
- ⑤ 全角文字、半角カタカナ、半角スペースは使用できません。
- ⑥ メールアカウントと同じパスワードは、使用できません。

以 上